

にはまエコライフ通信

第20号

R3.9.1 発行

市民、事業者、行政が取り組む計画

新居浜市地球温暖化対策地域計画(第2次区域施策編)策定

新居浜市地球温暖化対策地域計画

第2次区域施策編

みんなで取り組もう

ストップ! 温暖化



令和3(2021)年3月
新居浜市

新居浜市は、市内全域から排出される温室効果ガスの削減を目標とした地球温暖化対策の取組を定めた「新居浜市地球温暖化対策地域計画(第2次区域施策編)」を、令和3年3月に策定しました。

計画では2030年度までに温室効果ガスを35.8%削減(2013年度比)、さらに2050年度までに排出量実質ゼロを目指しています。

「地球温暖化防止」に積極的に取り組みましょう

気候変動の影響を回避するには、2050年頃までに全世界の人為的な温室効果ガス排出量を実質的にゼロにする必要があると言われており、世界中の国や団体、組織などが2050年カーボンニュートラルを目指すことを表明しています。

新居浜市も2050年頃までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す地方公共団体として、ゼロカーボンシティを表明し、それに対して小泉環境大臣からメッセージが届きました。

その中で小泉環境大臣は気候変動対策の更なる具体化・加速化を進め、2050年カーボンニュートラルを実現するためには、この5年、10年の活動が非常に重要であると述べています。

私たち地球高温化対策地域協議会は、地域計画の推進母体です。協議会が一体となって積極的に地球温暖化防止に取り組みましょう。

愛媛県新居浜市長 石川 勝行 殿

貴市におかれましては、この度、地方自治体として2050年の温室効果ガスの実質排出量ゼロ(ゼロカーボンシティ)を目指すことを表明されました。今回の貴市の表明をもちまして、ゼロカーボンシティは国内で393自治体となりました。我が国としての2050年カーボンニュートラルの実現に向け、大変心強く感じております。

近年、国内各地で大規模な災害が多発しているところですが、温室効果ガスの増加に伴い、今後、気象災害の更なる頻発化・激甚化などが予測されております。こうした事態は、もはや「気候変動」ではなく、私たちの生存基盤を揺るがす「気候危機」と表現すべき事態であると考えております。

現在、我が国は新型コロナウイルス感染症への対応と気候危機という二つの危機に直面しておりますが、環境省としては、コロナ前の社会に戻るのではなく、脱炭素社会、循環経済、分散型社会への三つの移行を加速させ、持続可能で強靱な経済社会への「リデザイン(再設計)」を一層強力に進めてまいります。

2050年カーボンニュートラルの実現を進めるためには、今後30年間のうち、とりわけこの5年間、10年間が重要です。このため、パリ協定の目標達成に向け、脱炭素のモデルケースを各地に創り出し、次々と先行地域を広げていく「脱炭素ドミノ」を実現していく必要があると考えております。貴市及び他のゼロカーボンシティと連携しながら、気候変動対策の更なる具体化・加速化に努めてまいります。

環境大臣 小泉進次郎

▲新居浜市ゼロカーボンシティ表明
に対する小泉環境大臣のメッセージ

*裏ページに続きます。

私たちにもこんなに減らせる温室効果ガス

家庭生活上でこれをやったら・・・



エアコンのフィルターを月に1～2回掃除すると
年間860円節約でき CO₂を18.2kg排出削減

電気炊飯器で適量のご飯を炊き長時間の保温を避けると

年間1,240円節約でき CO₂を26.1kg排出削減

冷蔵庫を壁から適切な間隔を取って設置すると

年間1,220円節約でき CO₂を25.7kg排出削減

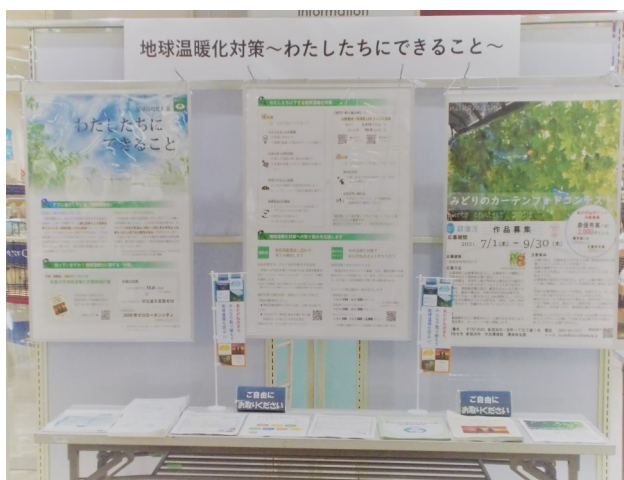
*ほんの一例です。詳しくは地域計画(概要版)をご覧ください。



家庭から出る二酸化炭素、その約半分は電気からです。地域計画では家庭で出来る取り組みも紹介しています。コツコツ少しずつの省エネ活動を続けることで、ちょっとびっくりな温室効果ガス削減につながります。

イオン周年祭に参加しました

令和3年7月22日～7月25日の間、イオン周年祭において、地球温暖化対策や協議会の紹介を行いました。25日には協議会で作成しているコットンバッグを配布しマイバッグ持参の呼び掛けを行いました。今後もイベントなどを通じて、市民の方々に新居浜市地球高温化対策地域協議会の活動の周知を図りたいと思います。



編集・発行 **新居浜市地球高温化対策地域協議会事務局**

〒792-8585 新居浜市一宮町一丁目5番1号(新居浜市役所環境保全課内)
TEL(0897)65-1512 FAX(0897)65-1255 E-mail:hozen@city.niihama.lg.jp